

令和5（2023）年度

**周南市の教育
事業概要**

周南市教育委員会

目 次

1	はじめに	1
2	教育委員会所管 重点施策	
	○ 事業推進にあたっての考え方	4
	○ 教育政策課	4
	○ 生涯学習課	8
	○ 人権教育課	19
	○ 学校教育課	23
	○ 学校給食課	32
	○ 中央図書館	33
3	教育費予算の状況	35
4	教育委員会事務局機構図	39

1 はじめに

本市では、教育の目標や施策の根本的な方針となる「周南市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」(以下「教育大綱」という。)を平成28(2016)年3月に策定しました。

その後、この教育大綱に掲げた教育理念や基本方針をより分りやすく、そして一層具体化するために、平成28(2016)年3月に策定した「教育大綱」に、「周南市の教育」及び教育基本法で定める「教育振興基本計画」の内容を盛り込み、これらを一本化することで、本市教育がめざす方向性や施策等を総合的に示した「新たな教育大綱」を平成29(2017)年3月に策定しました。

この「新たな教育大綱」に掲げた教育理念や基本方針をさらに具現化するとともに、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの計画期間である第2次まちづくり総合計画後期基本計画との整合を図り、本市教育を取り巻く環境の変化や新たな課題に立ち向かい、乗り越えるために、現在の教育大綱のもとで進めてきた基本理念及び基本方針を継承しつつ、今後5年間の本市教育の進むべき方向性と施策等を総合的に示した新たな指針となる「第2期教育大綱」を策定しました。

教育委員会では、今日まで連綿と受け継がれてきた「周南教育」における「不易」(本質的な価値)と「流行」(変化への対応)を見極めながら、「第2期教育大綱」の基本理念である「子どもの夢に寄り添い『生き抜く力』を育む 周南の教育」の推進に努めます。

また、教育委員会では、この「教育大綱」で定めた基本理念及び基本方針を具現化するために、「周南市の教育事業概要」を策定し、年度ごとの教育委員会各所管の重点事業やその内容について具体的に明示することで、着実な事業展開を期していきます。

「周南市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」

令和2(2020)年3月策定

《基本理念》

～子どもの夢に寄り添い「生き抜く力」を育む 周南の教育～

「子どもは社会の宝」です。

子どもの元気な笑い声が飛び交うまちは、活気に満ちあふれています。

子どもたちが、真の社会人としての自己実現を図るためには、「確かな学力」「豊かな心」「健康やかな体」を、それぞれ調和のとれた『生きる力』として身に付けることが重要です。

その上で、これからの変化の激しい社会を未来に向かって生きていくためには、チャレンジ精神や逆境を乗り越えていくなどの『生き抜く力』が必要となります。

これらの『生きる力』『生き抜く力』を育成するためには、コミュニティ・スクールが核となり、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの夢に寄り添いながら、学びや育ちを社会全体で見守り育むことが重要です。

その上で、「ふるさと周南」の自然や歴史、伝統や文化に誇りと愛着をもち、高い「志」を抱いて社会で活躍し、力強く自らの未来を拓く子どもたちを育てていく環境づくりが大切です。

さらに、人権教育の充実はもとより、文化芸術やスポーツを含めた幅広い生涯学習活動を推進し、誰もが、「いつでも」「どこでも」学ぶことができる環境を充実するとともに、その学びの成果を社会に還元する生涯学習社会の実現と、まちづくりを担う人材育成が重要です。

こうした教育理念を具現化するため、教育における「不易」(本質的な価値)と「流行」(変化への対応)を見極めながら、次の5つの基本方針に基づき実践を積み重ねることで、「周南の教育」のさらなる充実に努めます。

『教育大綱』における「5つの基本方針」と「17の推進方向」

基本理念 **子どもの夢に寄り添い 「生き抜く力」を育む 周南の教育**

基本方針① **道徳教育や幼児教育の充実を柱とした「豊かな心」の育成**

推進方向1 道徳教育の充実

推進方向2 幼児教育の充実

基本方針② **「確かな学力」「健やかな体」の育成**

推進方向3 確かな学力の育成

推進方向4 健やかな体の育成

基本方針③ **コミュニティ・スクールの充実**

推進方向5 コミュニティ・スクールの充実

推進方向6 地域学校協働活動の充実

推進方向7 青少年の健全育成

基本方針④ **信頼と期待に応える教育環境の充実・整備**

推進方向8 児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の人材育成

推進方向9 望ましい教育環境の充実・整備

推進方向10 安心・安全な学校給食の提供

基本方針⑤ **いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現**

推進方向11 生涯学習活動の推進

推進方向12 生涯にわたり、スポーツ活動に親しむ環境の整備

推進方向13 文化芸術活動の推進

推進方向14 文化財の保護と活用

推進方向15 読書が育むひとづくり・まちづくり

推進方向16 人権教育の推進

推進方向17 まちづくりを担うひとづくり

2 教育委員会所管 重点事業

事業推進にあたっての考え方

本市が、今後も活力と品格のあるまちであり続けるためには、市全体で、人口減少を少しでも鈍化させ、地域、経済の萎縮を抑え、選ばれ、住み続けられるまちづくりを、根気強く勇気をもって進めていくことが何よりも必要となります。

その中で、教育委員会が果たすべき役割は、将来のまちづくりの推進役を担う人材を育成するとともに、人材育成の場である学校や地域社会の教育環境の充実を図ることだと考えます。

そこで、大綱に掲げた理念の実現を目指しながら、「本市の未来を担う人材を育成すること」を教育行政を進めるにあたっての心がけとし、学校教育や社会教育におけるハード、ソフト両面の充実をめざす各事業の着実な実施に向けて、関係部局と連携しながら教育委員会全体で取り組んでまいります。

教育政策課

I 基本方針

- 教育委員会の権限に属する事務を明確化し、責任をもって管理・執行するとともに、事務の点検・評価を行い、より一層効果的で効率的な教育行政を推進します。
- 児童生徒が安心して快適に学ぶことができるよう、学校施設整備に注力するとともに、再編整備を推進し、児童生徒にとって望ましい教育環境の確保に努めます。
- 子どもたちが、その生まれ育った環境に左右されることなく、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、教育の機会均等を図るため、修学の機会の確保に努めます。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

望ましい教育環境の充実・整備

事業名 小学校改修事業 <継続> 当初予算額(前年度):437,298(459,157)千円

事業内容 教育効果並びに児童の安心・安全な教育環境を確保するため、小学校施設の危険箇所や老朽箇所などの改修等を実施します。

【Point】

- ・富田西小学校の外壁・防水改修を実施します。
- ・高水小、富田東小、福川小、鹿野小学校のトイレ改修を実施します。
- ・櫛浜小学校の照明改修を実施します。
- ・勝間小、高水小、遠石小、周陽小、櫛浜小、久米小学校の消火設備や防火設備改修を実施します。
- ・各小学校の遊具改修を実施します。

・周陽小学校屋内運動場の床改修を実施します。

・勝間小学校北門改修を実施します。

◆事業実績及び計画

R元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
(1)大規模改修 ・久米小(校舎増築) ・須磨小(防水) ・勝間小(水道接続) ・福川小 (プールろ過機) ・榑浜小(倉庫解体) ・福川小 (倉庫他解体) ・福川南小 (高架水槽配管) ・今宿小(外壁) ・戸田小 岐山小 福川南小 三丘小 (トイレ) ・ブロック塀 久米小 遠石小 周陽小 秋月小 桜木小 徳山小 今宿小 菊川小 夜市小 湯野小 岐山小 須磨小 大河内小 鹿野小	(1)大規模改修 ・徳山小(門扉) ・沼城小(フェンス) ・沼城小(消火設備) (2)普通教室空調整 備 徳山小 遠石小 今宿小 久米小 菊川小 榑浜小 夜市小 戸田小 湯野小 岐山小 須磨小 沼城小 周陽小 秋月小 桜木小 三丘小 高水小 勝間小 大河内小 鹿野小 富田東小 福川小 富田西小 和田小 福川南小	(1)大規模改修 ・徳山小(防水) ・鹿野小(校舎内部) ・富田東小(照明) ・各小学校(遊具) ・菊川(外壁・防水) ・富田西小 (外壁・防水) ・和田小(外壁・屋根) ・今宿小 沼城小 勝間小(トイレ)	(1)大規模改修 ・鹿野小中 (空調設備移設) ・各小学校(遊具) ・高水小 (外壁・防水) ・富田西小 (外壁・防水) ・大河内小 (水道接続) ・岐山小(トイレ) ・大河内小(トイレ) ・周陽小(照明)	(1)大規模改修 ・富田西小 (外壁・防水) ・高水小 富田東小 福川小 鹿野小 (トイレ) ・榑浜小(照明) ・勝間小 高水小 (消火設備) ・遠石小 周陽小 榑浜小 久米小 (防火設備) ・各小学校(遊具) ・周陽小(屋内運動 場床) ・勝間小(北門)

事業名 中学校改修事業 <<継続>> 当初予算額(前年度) : 138,461(297,664)千円

事業内容 教育効果並びに生徒の安心・安全な教育環境を確保するため、中学校施設の危険箇所や老朽箇所などの大規模改修等を実施します。

【Point】

・秋月中学校の外壁改修や桜田中学校の外壁・防水改修を実施します。

・福川中学校の照明改修を実施します。

・菊川中学校防球ネット改修を実施します。

・各中学校の遊具改修を実施します。

◆事業実績及び計画

R元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
(1)大規模改修 ・福川中(防水) ・須々万中(照明) ・ブロック塀 住吉中 周陽中 富田中 (2)設計 ・岐陽中(トイレ) (3)普通教室空調整備 鼓南中 住吉中 菊川中 桜田中 須々万中 秋月中 鹿野中 福川中 和田中	(1)大規模改修 ・熊毛中(防水) ・福川中(避難器具) ・周陽中(外壁) ・岐陽中、秋月中、 住吉中、富田中 (トイレ)	(1)大規模改修 ・富田中(防水) ・秋月中 (屋体外壁・防水) ・太華中 菊川中 桜田中 須々万中 (トイレ)	(1)大規模改修 ・秋月中 (外壁・防水) ・周陽中 (外壁・防水) ・住吉中(照明)	(1)大規模改修 ・秋月中(外壁) ・桜田中 (外壁・防水) ・福川中(照明) ・菊川中(防球ネット) ・各中学校(遊具)

事業名 奨学金貸付等基金事業 <<継続>>

当初予算額(前年度):2,236(2,419)千円

事業内容 経済的理由により修学が困難な学生・生徒に奨学金の貸付け及び給付を行い、修学機会の確保に努めます。

【Point】

- ・ホームページ、市広報、また学校への通知などを通して制度の周知に努めます。
- ・令和3年度から、高等学校等に在学する者に対する一般奨学金を選択制とし、また定住促進奨学金については、20,000円の区分を新設して選択制としました。より一層個々の奨学生の状況に応じた貸付を行います。

◆奨学金制度の概要

種類	貸付け/給付	月額	対象となる者
一般奨学金	貸付け (無利子)	・高等学校(1~3年)、専修(高等)、 高専(1~3年) 18,000円又は24,000円の選択制 ・高等学校専攻科(1~2年)、大学、 専修(専門)、高専(4~5年、専攻科) 35,000円	経済的理由により 修学が困難な者
定住促進奨学金	貸付け (無利子) (一定の条件で 返還不要)	・高等学校専攻科(1~2年)、大学、 専修(専門)、高専(4~5年、専攻科) 10,000円又は20,000円の選択制 (一般奨学金に上乘せ)	卒業後市内に定住 する意志を持つ者
修学支援奨学金	給付 (返還不要)	10,000円(一般奨学金に上乘せ)	経済的理由により 著しく修学が困難 な者

定住促進奨学金とは…

大学等を卒業後、市内に3年以上定住した場合、返還が不要となる奨学金

修学支援奨学金とは…

経済的理由により著しく修学が困難な学生・生徒を対象とした給付型(返済不要)の奨学金

事業名 小学校教職員経費 <<継続>>

当初予算額(前年度):8,555(8,717)千円

事業内容 県費の養護教諭、事務職員が配置されない小規模校に市費で配置することにより、学校管理運営を円滑に行い、教育の充実を図ります。

【Point】

- ・県費の養護教諭、事務職員が配置されない小規模校に市費で配置します。

事業名	小中学校再編整備推進事業 《継続》	当初予算額(前年度):837(825)千円
事業内容	<p>児童生徒の望ましい教育環境を実現するため、地域の実情、保護者や関係者の願いに配慮しながら、再編整備に継続して取り組むなど、学校の適正配置を進めます。</p> <p>再編整備に対する児童生徒の不安解消を図るため、対象校間での交流学习を実施します。</p> <p>休校となった学校施設の環境整備（草刈り、樹木剪定など）を実施します。</p>	

【Point】

・**地域の実情、保護者や関係者の願いに配慮しながら、学校の適正配置を進めるとともに、休校施設の有効活用に向けた取組を進めます。**

◆**交流学习対象校**

- ・須磨小学校⇔沼城小学校
- ・鼓南小学校⇔榎浜小学校
- ・鼓南中学校⇔太華中学校
- ・八代小学校⇔高水小学校
- ・和田小学校⇔富田西小学校 など

◆**休校施設管理実施校**

- ・大向小学校
- ・須金中学校
- ・四熊小学校
- ・中須小中学校
- ・大津島小中学校
- ・久米小学校譲羽分校

生涯学習課

I 基本方針

- 学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援する活動を進め、子どもたちの「生き抜く力」を育むことができる環境づくりに努めます。
- 市民の自主的・継続的な学習活動を支援することで、生涯学習の推進に取り組みます。
- 八代のツルなど文化財の保護と活用を図り、郷土の特色ある歴史や文化の継承を進めます。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

コミュニティ・スクールの充実

地域学校協働活動の充実

事業名	学校・家庭・地域の連携協力推進事業 <継続>	当初予算額(前年度):12,328(12,277)千円
事業内容	子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで支援するため、各中学校区において、コミュニティ・スクールを核として学校・家庭・地域が連携・協働する「やまぐち型地域連携教育」を推進し、地域学校協働活動*による「学校を核とした地域づくり」に取り組みます。	

【Point】

- ・地域学校協働活動推進のため、全中学校区に配置する地域学校協働活動推進員*の地域におけるコーディネート活動を積極的に支援します。
- ・放課後子供教室を全小学校区で実施するための人材確保に向けた地域との調整などに取り組みます。
- ・教育の基本となる家庭での教育力向上を図るため、家庭教育支援チーム*の活動充実に取り組みます。

地域学校協働活動とは…

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTAなど幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動のこと。

山口県における地域学校協働活動は、コミュニティ・スクールが核となり、中学校区ごとに形成するネットワークである「地域協育ネット」の仕組みを生かした「やまぐち型地域連携教育」として推進されています。

地域学校協働活動推進員とは…

地域と学校との情報共有や助言を行うため、教育委員会が中学校区ごとに委嘱し、校区内の小・中学校の地域コーディネーター等と連携して活動を推進する人材のこと。

放課後子供教室とは…

希望する全ての児童を対象として、地域住民の参画により、放課後等に安心・安全な居場所と、多様な学習や体験プログラム等を提供する事業のこと。

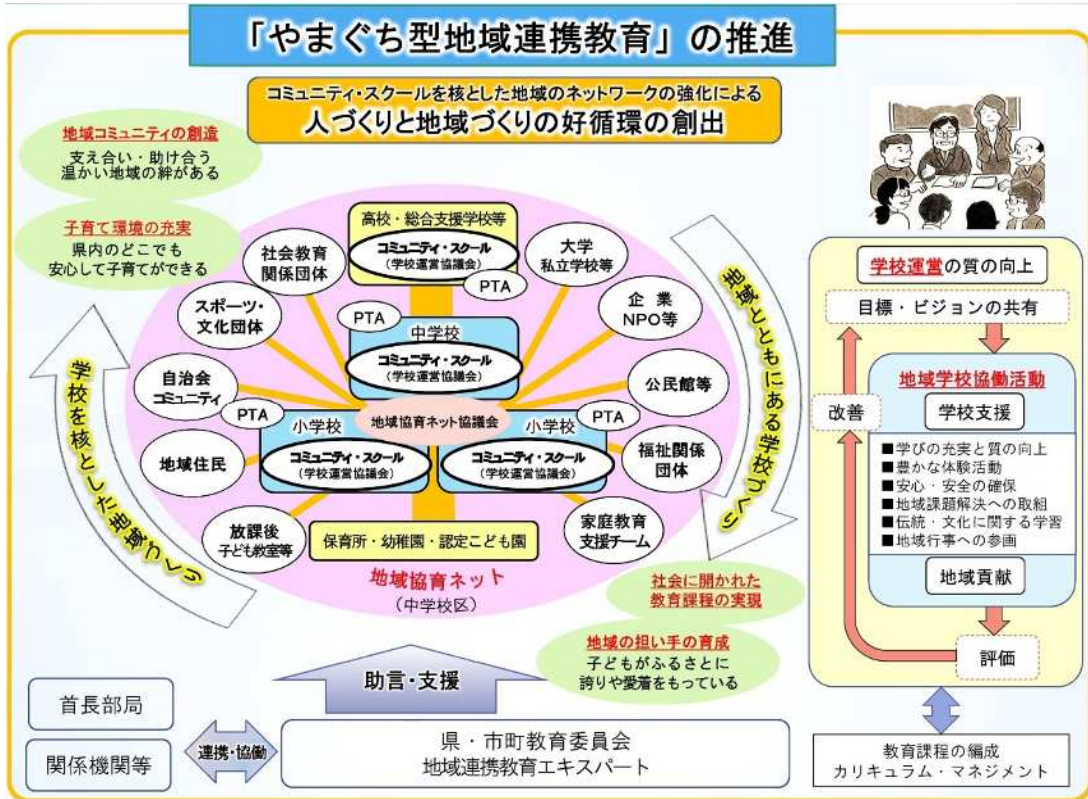
家庭教育支援チームとは…

子育て経験者をはじめとする地域人材で構成され、家庭教育や子育てに関する相談や関係する講座の開催など、主体的な活動を行うグループのこと。

(1) 地域学校協働活動推進員への支援

コミュニティ・スクールが核となり、各中学校区に形成する地域のネットワーク（地域協育ネット）の仕組みを生かし、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組を推進します。

その取組において重要な役割を担う地域学校協働活動推進員が、連携・協働に資するコーディネート機能を充分発揮できるよう活動を支援します。



(2) 放課後子供教室と児童クラブとの一体的推進

児童の安心・安全な居場所づくりのため、放課後子供教室は地域のボランティアの協力を得た学びや体験機会を、児童クラブは適切な遊びや生活の場を提供しています。

国が示す「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、児童クラブとの連携を深め、同一の小中学校内において児童クラブの児童も放課後子供教室に参加可能とする一体的な実施を推進しています。

◆放課後子供教室と児童クラブ

	放課後子供教室	児童クラブ（補助執行）
対象	希望する全ての児童（定員あり）	保護者が就労や疾病等により、放課後等に家庭で保育できない児童
場所	小学校の余裕教室や市民センター等	小学校の余裕教室等
体制	協働活動サポーター（地域のボランティア）による	職員による
実施内容	概ね小学校区を単位として、放課後等に協働活動サポーターにより企画された体験活動や地域住民との交流を実施（週1回、週数回、長期休業期間等、地域の実状に合わせて実施）	小学校区を単位として、放課後等に、児童の適切な遊びや生活の場を提供（日曜・祝日等を除く、ほぼ毎日実施）
設置数 (R4年度実績)	27 小学校区・32 教室	24 小学校区・25 箇所

◆放課後子供教室と児童クラブの現状

No.	放課後子供教室					児童クラブ		形態
	校区	教室名	場所	開催日	活動内容	定員	場所	
1	徳山	徳山小学校放課後子ども教室	小学校	水曜日(月1回)	AFPY、ニュースポーツ 等	120	小学校	一体
2	遠石	遠石小学校放課後子供教室	小学校	水曜日(月数回)	昔遊び、室内遊び 等	120	小学校	一体
3	今宿	今宿遊ビバづくり	小学校	水曜日(毎週)	けん玉、紙芝居、点字 等	120	小学校	単独
4	久米	久米放課後子供教室	市民センター 小学校	水曜日(月数回)	工作、季節行事 等	80	小学校	一体
						45	東福祉館	
5	菊川	きくがワハハクラブ	市民センター 小学校	水曜日(毎週)	レクリエーション、DVD 等	115	小学校	単独
6	櫛浜	櫛浜子ども教室	市民センター 小学校	水曜日(月数回)	工作、季節行事、体軸体操 等 科学、編み物	80	小学校	連携
				土・日曜日(月1回)				
7	夜市	うりんぼうの会	市民センター	火・金(毎週)	学習	50	小学校	単独
8	戸田	戸田小学校放課後子ども教室	小学校	金曜日(月数回)	学習 等	35	小学校	一体
9	湯野	湯野小放課後子供教室「にじ」	旧幼稚園	水曜日(月数回)	工作、体験活動 等	50	旧幼稚園	一体
10	岐山	岐山放課後子供教室	市民センター 小学校	水曜日(毎週)	けん玉、ハンドベル 等 茶道、そろばん、生花	80	小学校	一体
				土曜日(月2回)				
11	須磨	すがね放課後子供教室	市民センター 小学校	水曜日(毎週)	野鳥学習、ボール遊び 等	—	—	単独
12	沼城	須々万放課後子供教室	小学校	水曜日(月1回)	昔遊び、まち歩き 等	85	小学校	一体
13	周陽	周陽放課後子ども教室	小学校	水曜日(月2回)	工作、読み聞かせ 等	80	小学校	一体
14	桜木	桜木子ども教室	小学校	水曜日(月2回)	学習、自由遊び	80	小学校	一体
15	秋月	秋月小学校放課後子供教室	市民センター	月1回	けん玉、季節行事 等	80	小学校	連携
16	鼓南	鼓南小学校放課後子供教室	小学校	金曜日(毎週)	学習、読書、ボール遊び 等	—	—	単独
17	富田東	富田東小茶道教室	小学校	土曜日(月数回)	茶道	120	小学校 旧児童館	一体
18	富田西	富田西小学校放課後子供教室	小学校	水曜日(毎週)	ものづくり、読み聞かせ 等	140	小学校	一体
	富田東 富田西		三世代交流センター 西部市民交流センター	土曜日(月数回)	自然体験、ものづくり 等			
19	富田東 富田西	お茶の子クラブ	学び・交流 プラザ	土曜日(月2回)	茶道			連携
20	福川	福川小学校子供教室	小学校	水・金曜日(毎週)	読み聞かせ、スポーツ 等	45	小学校	一体
	福川 福川南		福川シニア 交流会館	土曜日	自然体験、ものづくり 等			
21	和田	「和みネット」放課後子ども教室	市民センター	水曜日(月1回)	体力づくり、読み聞かせ 等	35	小学校	一体
22	福川南	福川南小学校放課後子ども教室	小学校	月・水曜日(毎週)	スポーツ、オセロ、トランプ 等	50	小学校	一体
23	新南陽 全地域	新南陽子将棋教室	福川会館	土曜日(月2回)	将棋			連携
24	新南陽 全地域	新南陽子音楽教室	西部市民交流 センター	土曜日(月1回)	音楽			連携
25	新南陽 全地域	新南陽子手芸教室	西部市民交流 センター	土曜日(月1回)	手芸			連携
26	新南陽 全地域	新南陽子どもおやつづくり教室	新南陽ふれあ いセンター	土曜日(月1回) ※開催中止	おやつづくり			連携
27	三丘	三丘放課後子ども教室	小学校	木・金曜日(毎週)	学習 ものづくり 等	35	小学校	一体
			市民センター	土曜日(不定期)				
28	高水	高水子ども教室	市民センター 小学校	水・土曜日(月数回) ※開催中止	料理、さをり織り	40	小学校	一体
29	勝間	勝間子供教室	市民センター	土曜日(月1回)	生花	130	小学校	連携
30	大河内	大河内放課後子供教室	市民センター	土曜日(年5回) ※開催中止	料理、ニュースポーツ 等	40	小学校	連携
31	八代	八代放課後子供教室	小学校	月・火・木・金曜日 (毎週)	学習、読み聞かせ	—	—	単独
32	鹿野	鹿野地域放課後子供教室	コアプラザ かの	水・土曜日(月数回)	体験活動、季節行事 等	50	すくすくセ ンター	一体

※ 令和5(2023)年2月28日現在。

※ 放課後子供教室：全32教室(うち一体型：17教室)、児童クラブ：24小学校区25箇所。

※ 令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を自粛した教室あり。(3教室)

◆放課後子供教室の取組状況

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
放課後子供教室と児童クラブの一体型教室数	15 教室	16 教室	16 教室	17 教室	17 教室
放課後子供教室の協働活動サポーター数	389 人	269 人	261 人	287 人	390 人

※令和 4（2022）年度の協働活動サポーター数は、令和 5（2023）年 2 月 28 日現在。

（3）家庭教育への支援

子育ての悩みや不安を抱えたまま孤立しがちな家庭を支えるため、学校等が取り組む家庭教育講座の開催や、市民によって構成された「家庭教育支援チーム」の活動を支援し、家庭での教育力向上を支援します。

①学校等で取り組む家庭教育講座の開催支援

公立の幼稚園や小学校、中学校が開催する家庭教育に関する講座の開催を支援します。

◆公立の幼稚園・小学校・中学校での講座開催状況

区分	幼稚園(6 園)	小学校(27 校)	中学校(13 校)	合計(46 園・校)
開催数	2 園、2 回	18 校、18 回	1 校、1 回	21 園・校、21 回

※令和 5（2023）年 2 月 28 日現在。

※幼稚園の中に、認定こども園を含む。

※合同開催の場合は、それぞれの園・学校で回数を計上。

②家庭教育支援チームの活動支援

各家庭教育支援チームの主体性とチーム員の特性を生かした活動を支援します。

また、「やまぐち型地域連携教育」の仕組みを生かし、中学校区単位で学校等と連携しながら家庭教育支援活動を行う「やまぐち型家庭教育支援チーム」の立ち上げを支援します。

◆家庭教育支援チームの設置状況

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
家庭教育支援チーム数	5 チーム	6 チーム	6 チーム	6 チーム	6 チーム

◆家庭教育支援チームの主な活動状況

チーム名（対象中学校区）	講座（相談の場）	親子参加型行事	グループワーク	相談会・PR活動・保護者交流会
西部（桜田、富田、福川）	1 回（有）	未実施	就学時健診時 3 回	幼稚園等相談会 1 回
熊毛中学校区（熊毛）	未実施	未実施	未実施	PR活動 1 回
鹿野中学校区（鹿野）	2 回（無）	1 回	就学時健診時 1 回	制服リユース会 1 回
中央部（太華、鼓南、岐陽、住吉、秋月）	未実施	未実施	未実施	相談会 2 回 PR活動 2 回
周陽中学校区（周陽）	未実施	未実施	未実施	未実施
菊川中学校区（菊川）	未実施	未実施	就学時健診時 1 回	保護者交流会 1 回

※令和 5（2023）年 2 月 28 日現在。

※令和 4（2022）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を縮小していたチームが徐々に活動を再開した。

③スキルアップ研修会の実施

家庭教育支援チーム員を対象とした研修会を開催し、スキルアップを図ります。

◆スキルアップ研修会の実施状況

コロナ禍でのチーム活動について、田布施町の事例発表を聞くとともに、意見交換を行った。

(参加者数：19人)

事業名 児童クラブ事業 <<継続>> 当初予算額(前年度): 313,029(296,037)千円

事業内容 国が示す「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後子供教室との連携を深めつつ、保護者が就労等の理由で放課後に家庭で保育できない児童の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。

【Point】

- ・学校内を基本とした児童クラブの教室の確保及び職員の継続的かつ安定的な確保に努め、保育体制の充実を図ります。
- ・児童クラブにおける多様化するニーズに応えるため、専任アドバイザーを中心とした指導・助言や各種の研修により、職員のスキルアップを図ります。
- ・厚生労働省令の改正に伴い、安全計画等の策定に取り組みます。

◆児童クラブの定員の状況

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
児童クラブの定員	1,750人	1,750人	1,905人	1,905人	1,905人

事業名 児童クラブ整備事業 <<継続>> 当初予算額(前年度): 127,090(5,689)千円

事業内容 安心・安全な環境で保育を行うため、校内改修による児童クラブの教室確保や耐震改修工事などに取り組みます。

【Point】

- ・校舎内余裕教室を活用する富田西児童クラブは、今後、児童数の増加が見込まれ、教室を確保する必要があることから、富田西小学校のランチルームを児童クラブ教室へ改修する工事を行います。
- ・耐震基準を満たしていない東福祉館を活用する東福祉館児童クラブは、耐震改修工事を行います。
- ・富田東児童クラブは、「周南市公共施設等太陽光発電設備設置計画」に基づき、太陽光発電設備の設置の調査・設計を行います。

◆年次計画

R4年度	R5年度	R6年度
<ul style="list-style-type: none"> ・東福祉館耐震改修設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・富田西ランチルーム改修工事 ・東福祉館耐震改修工事 ・富田東太陽光設備設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・富田東太陽光設備工事

青少年の健全育成

事業名 青少年育成センター運営事業 <継続> 当初予算額(前年度): 541(542)千円

事業内容 行政、警察、民間などが連携し、街頭補導による適切な指導や青少年にとって有害な環境の除去、青少年やその保護者からの相談対応などを通じて、健全な青少年の育成に努めます。

【Point】

- ・インターネットを適切に利用するための情報リテラシー*教育や保護者への啓発活動に取り組みます。
- ・教育委員会に届いた不審者情報の青少年指導員へのメール配信や臨時の街頭補導等を行います。

◆青少年のインターネット利用に伴うトラブル件数（暦年）

	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年
県内全域のトラブル件数	271件	302件	323件	338件	326件
うち周南警察署管内	25件	21件	22件	23件	26件

※件数は、山口県警察本部調査によるもの。

情報リテラシーとは…

情報の特性や影響などを正しく理解し、目的に応じた判断や選択、発信ができる能力（情報を使いこなす能力）のこと。

事業名 大田原自然の家管理運営事業 <継続> 当初予算額(前年度): 38,945(36,678)千円

事業内容 集団宿泊訓練及び野外活動等を通じて健全な青少年を育成するため、安心・安全に十分留意しながら、多様なプログラムの提供や次代を担う若者の育成に取り組みます。

また、施設の老朽化に伴い、休校中の中須中学校を改修のうえ活用する計画に沿い、移転に向けた事前調査や協議に取り組みます。

【Point】

- ・現施設において着実に青少年教育に取り組むとともに、移転に向けた検討や協議を行います。

◆大田原自然の家利用者数とボランティア数（延べ人数）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
利用者数	8,045人	3,729人	5,861人	7,053人	8,000人
(内)ボランティア数	1,065人	370人	646人	837人	1,000人

※令和4（2022）年度の施設利用者数、ボランティア数は、令和5(2023)年2月28日現在

【その他の青少年健全育成事業】

(1) 青少年の社会参加の促進（小学生、中学生、高校生等のボランティア・地域活動への参画促進）

ボランティア・地域活動など、郷土への誇りや地域に対する愛着の醸成に繋がる地域行事に青少年が積極的に参加するよう働きかける活動を推進します。

◆小学生、中学生、高校生等のボランティア・地域活動への参加者数（延べ人数）

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加者数	11,750人	3,753人	3,704人	未集計	18,000人

※令和4（2022）年度の実績人数は、年度末集計のため未集計

いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

生涯学習活動の推進

事業名 生涯学習推進事業 <継続> 当初予算額(前年度) : 2,416(2,326)千円

事業内容 地域の生涯学習活動及び地域づくり活動の拠点である市民センター*等において、それぞれの地域を対象とした自主講座や学級等を主催するなど、より多くの市民に対する学習機会の提供とその充実を図ります。また、学習成果を生かす機会の提供にも努めるとともに、「生涯学習主事*」のスキルアップに取り組みます。

【Point】

・市民センター等の地域の拠点施設を活かして、地域に密着したさまざまな生涯学習活動を推進します。

◆市民センター等で行う取組例

家庭教育支援	家庭教育講座
青少年教育	放課後子供教室、子ども会活動、読書活動
成人教育	人権、防犯防災、健康づくり、料理などの各種教室
高齢者教育	介護予防、スマートフォン講座
その他	文化祭、スポーツ大会、伝統行事
自主学習支援	自主学習グループの活動支援

◆個別の取組例

小学生の生活体験学習	通学合宿（夜市市民センター）
------------	----------------

◆主催講座の開催状況

指 標	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
市民センター等での生涯学習講座開催件数	51 件	98 件	184 件	214 件

※令和4（2022）年度の開催件数は、令和5（2023）年2月28日現在

市民センターとは…

地域の特性に応じた主体的かつ総合的な地域づくりを促進するとともに、一人ひとりの主体的な学びとしての生涯学習を推進することにより、活力ある持続可能な地域社会の実現を図る施設。

市民センターは、平成30（2018）年度に教育委員会から市長部局に移管した公民館及び公民館類似施設32施設と、市長部局内で移管した4施設の計36施設で、①地域づくりの支援、②生涯学習の推進、③各種団体、組織及び機関等の連携に関する事業等に取り組んでいます。

なお、鶴いこいの里、新南陽ふれあいセンター、コアプラザかのは、市民センター事業を行う施設として位置付け。

生涯学習主事とは…

市民センター等において、社会教育法に定める公民館主事と同様の職務を担う職員のこと。

事業名 学び・交流プラザ管理運営事業 <継続>

当初予算額(前年度):87,582 (73,292)千円

事業内容 本市の生涯学習の拠点施設である学び・交流プラザにおいて、市全域を対象として、より多くの市民に対する学習機会の提供とその充実を図るとともに、市内外の生涯学習情報等を集約して情報紙やインターネット等を活用した学習情報の発信による、市民の学習活動のきっかけづくりの推進や、「学びサポーター*」の育成など、学習成果を生かす機会の提供に努めます。

また、周南市スマートシティ構想の推進のため、デジタルコンテンツ・リモート通信等を活用した新しい手法による生涯学習の展開に取り組みます。

【Point】

・従来の生涯学習機会の提供に加えて、市民一人ひとりが人生を豊かなものとするために身に付けた知識や能力を発揮する機会を提供するとともに、生涯学習の担い手となる人材の育成に取り組みます。

◆学び・交流プラザの活動状況

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
学び・交流プラザでの生涯学習講座開催件数	25 件	14 件	19 件	17 件	26 件
しゅうなん出前トーク実施件数	392 件	197 件	210 件	未集計	400 件
学びサポーター登録者数	69 人	69 人	69 人	54 人	70 人

※令和 4 (2022) 年度のしゅうなん出前トーク実施件数は、年度末集計のため未集計

学びサポーターとは…

学び・交流プラザにおいて、主に主催講座受講者が講座終了後に学習成果を生かし、講座など生涯学習活動の企画運営に関わるボランティアのこと。

事業名 学び・交流プラザ改修事業 <新規>

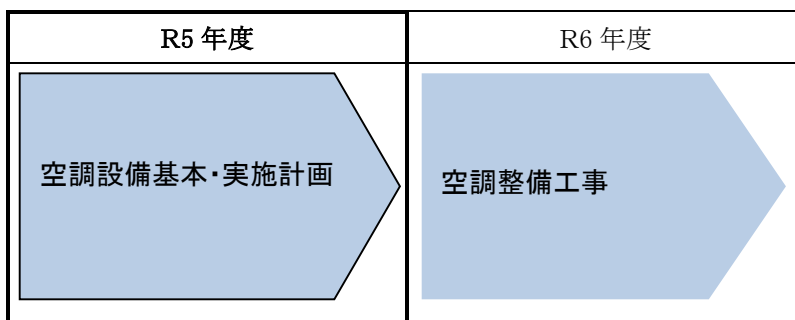
当初予算額(前年度):12,665(0)千円

事業内容 利用者の安心・安全と交流拠点施設としての利便性向上を図るため、交流アリーナに空調設備を整備します。

【Point】

・交流アリーナの空調設備整備に向けた設計を行います。

◆年次計画



事業名 鶴保護対策事業 <継続>

当初予算額(前年度):17,481(16,955)千円

事業内容 地元ツル保護団体や国・県・関係市との緊密な連携により、ツルのねぐら整備による生息環境の保全や、保護ツルの移送・放鳥など、渡来ツルの増羽に向けた取組を推進します。

【Point】

- ・生息環境の保全とともに、移送・放鳥について、国・県・出水市と一層緊密な連携と情報の共有に努めます。

◆移送・放鳥の実績(事業開始からの累計:移送ツル 28羽、内放鳥ツル 20羽)

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
ツル渡来数	9羽	13羽	14羽	28羽	13羽
移送ツル数	0羽	1羽	0羽	4羽	0羽
放鳥ツル数	0羽	5羽	0羽	0羽	0羽

※令和4(2022)年度のツル渡来数は、令和5(2023)年2月28日現在

【その他の文化財保護事業】

(1)未指定文化財の調査や文化財として指定することによる保護の推進

(2)指定文化財等の適切な管理及び活用の推進(市民への周知や施設見学者増に向けた工夫)

- ・山田家本屋、大玉スギなどの管理
- ・文化財防火デーに合わせた消火訓練
- ・伝統芸能の継承に取り組む団体に対する支援(小・中学生に対する伝承活動、伝統芸能大会)
 指 定：三作神楽保存会、周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会、勝間諫鼓踊保存会、
 長穂念仏踊保存会、須々万大名行列保存会
 未指定：大道理手踊り保存会、戻路杖踊り保存会、福川盆踊りを盛り上げる会 など

(3)埋蔵文化財に関する調査

(4)民俗資料の活用

- ・(仮称)新南陽民俗資料展示施設の供用開始、小学校の団体見学受け入れや出張講座

◆指定・登録文化財件数

種別(件数)	指定・登録文化財(副読本「わたしたちの市 周南」から)
国指定(5件)	三作神楽(和田)、八代のツルおよびその渡来地(八代)など
県指定(16件)	山田家本屋(湯野)、徳修館(三丘)、若山城跡(夜市・福川)、 勝栄寺土塁及び旧境内(富田東)、潮音洞(鹿野)、 長穂念仏踊(長穂)、山崎八幡宮の本山神事(富田東・富田西)、 諫鼓踊(勝間)、花笠踊(八代)、周南市安田の糸あやつり人形芝居(三丘)など
市指定(69件)	銅造洪鐘(遠石)、鉄造茶釜(長穂)、上年五輪塔(菊川)、湯野板碑(湯野)、 徳山毛利家墓所(中央地区)、陶氏墓所(長穂)、福川本陣跡(福川)、 呼坂本陣跡(勝間)、毛利元就の歯廟(三丘)、須々万八朔祭(須々万)など
国登録(20件)	遠石八幡宮本殿(遠石)、旧日下医院本館(富田東)、 周南市市長公舎洋館・和館(中央地区)、漢陽寺庭園(鹿野)など

※令和5(2023)年2月28日現在

◆文化財保護の取組状況

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
文化財指定登録件数	106 件	106 件	110 件	110 件	110 件
民俗資料展示施設の学校見学及び出張講座の参加児童数	(7 校) 475 人	(6 校) 347 人	(1 校) 42 人	(4 校) 172 人	(7 校) 400 人

※令和 4 (2022) 年度の民俗資料展示施設の学校見学及び出張講座の参加児童数は、令和 5 (2023) 年 2 月 28 日現在

まちづくりを担うひとづくり

まちづくりは、生涯学習を通じて自己の人格を磨き、豊かな人生を送る市民一人ひとりの力によって支えられています。

そして、地域を担う人材を育成するためには、生涯学習によって身に付けた知識や技能などの成果を、私的満足から公益的な活動につなげ、学校や地域で発揮する機会を拡充することが重要です。

平成 30（2018）年度には、市内各地域の課題解決に役立てることをめざし、公民館を市民センターとして生涯学習だけでなく地域づくり活動の拠点と位置付けました。

今後も本市における生涯学習の拠点施設である学び・交流プラザを中心とし、各市民センター等において幅広い生涯学習事業を積極的に推進します。

併せて、学校を核として、さまざまな能力や経験をもつ地域の大人が連携・協働し、子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで支援する地域学校協働活動による「学校を核とした地域づくり」の深化が求められています。また、青少年の健全育成活動への市民参画を促す必要があります。

そのため、市民センターや学校をはじめとする地域でのさまざまな機会を通じて、学校・家庭・地域の連携・協働に欠かせない地域人材の発掘と育成、ネットワーク化を推進します。

< 再 掲 >

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
放課後子供教室と児童クラブの一体型教室数	15 教室	16 教室	16 教室	17 教室	17 教室
放課後子供教室の協働活動サポーター数	389 人	269 人	261 人	287 人	390 人
家庭教育支援チーム数	5 チーム	6 チーム	6 チーム	6 チーム	6 チーム
市民センター等での生涯学習講座開催件数	186 件	51 件	98 件	184 件	214 件
学び・交流プラザでの生涯学習講座開催件数	25 件	14 件	19 件	17 件	26 件
しゅうなん出前トーク実施件数	392 件	197 件	210 件	未集計	400 件
学びサポーター登録者数	69 人	69 人	69 人	54 人	70 人

※令和 4（2022）年度の協働活動サポーター数は、令和 5（2023）年 2 月 28 日現在

※令和 4（2022）年度の市民センター等での生涯学習講座開催件数は、令和 5（2023）年 2 月 28 日現在

※令和 4（2022）年度のしゅうなん出前トーク実施件数は、年度末集計のため未集計

人権教育課

I 基本方針

- 「山口県人権推進指針」、「周南市人権行政基本方針」を基本とし、「自由」「平等」「生命（いのち）」をキーワードに人権尊重の視点に立ち、「市民一人ひとりの人権が尊重されるまち」の実現に向けて学校、地域社会、企業・職場における人権教育を推進します。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

人権教育の推進

事業名 地域人権教育推進事業 <継続> 当初予算額(前年度):736(762)千円

事業内容 周南市人権教育推進協議会を中心とした推進体制のもと、市内 10 ブロックのニーズに沿った自主的な学習活動を支援し、地域における人権尊重の精神の涵養を図ります。

【Point】

- ・各ブロックの人権教育推進協議会における、地域の特性に応じた人権講演会等の開催を支援します。
- ・地域住民のニーズに応じて人権出前講座を実施します。
- ・より多くの人々に人権に関心を持ってもらうきっかけづくりとして、駅前図書館インフォメーションスペースで、人権オープンシアターを開催します。

◆ブロックと地区割り

ブロック名	地区名	ブロック名	地区名
北部	須々万地区、中須地区、須金地区、長穂地区、向道地区	周陽	桜木地区、周陽地区、秋月地区
		菊川	菊川地区
中央	中央地区、関門地区、岐山地区、遠石地区、大津島地区	西部	夜市地区、戸田地区、湯野地区
		新南陽	富田地区、福川地区、和田地区
今宿	今宿地区	熊毛	熊毛地区
太華	鼓南地区、榎浜地区、久米地区	鹿野	鹿野地区

◆ブロック人権講演会等開催状況 ※学校との共同開催を含む 令和 5(2023)年 2 月 28 日現在

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加人数	3,931 人	1,598 人	2,099 人	3,056 人	3,500 人

◆人権出前講座(市民センター等)の開催状況 令和 5(2023)年 2 月 28 日現在

	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加人数	559 人	0 人	144 人	347 人	150 人
実施回数	8 回	0 回	5 回	6 回	6 回

◆人権オープンシアターの開催状況

	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加人数	23 人	30 人	65 人	50 人	60 人

事業名 人権教育講座運営事業 <継続>

当初予算額(前年度):207(211)千円

事業内容 山口県人権推進指針に定める16の人権課題を基本に、各地域の市民センター等で「ハートフル人権セミナー」を継続的に開催し、地域住民等の人権意識の涵養を図ります。

【Point】

- ・世界の多様な価値観や文化に触れ、国際的な人権感覚の醸成を図るため、周南公立大学の留学生を講師に「外国人問題」について、秋月小学校で児童と共に学びます。
- ・SNS等インターネットによる人権問題を正しく理解し、加害者にも被害者にもならないよう「インターネットの問題」について夜市小、久米小学校で児童と共に学びます。
- ・コロナ禍における対策として、オリジナル動画「おうちで学ぶ人権講座」3本を市ホームページで配信しています。

◆令和5(2023)年度ハートフル人権セミナー実施計画

開催日	会場	テーマ	講師
6月6日	三丘市民センター	性の多様性	今田 真樹氏
6月8日	菊川市民センター	子ども	あんしん子育て室職員
6月15日	夜市小学校	インターネット	山口県金融広報委員会アドバイザー
6月20日	コアプラザかの	犯罪被害者と家族	山口被害者支援センター
6月22日	周南公立大学	同和問題	元社会教育指導員
6月27日	櫛浜市民センター	男女共同参画	男女共同参画推進員
6月29日	秋月小学校	外国人	周南公立大学留学生
7月6日	大津島ふれあいセンター	ハンセン病	人権教育課職員
7月27日	ゆめプラザ熊毛	同和問題	元社会教育指導員
9月5日	須々万市民センター別館	障害者	障害者支援課職員
9月7日	久米小学校	インターネット	周南公立大学教授
9月12日	学び・交流プラザ	高齢者	地域福祉課職員
9月21日	新南陽ふれあいセンター	障害者	社会福祉協議会職員
9月28日	今宿市民センター	男女共同参画	男女共同参画推進員
10月5日	周南市役所 多目的室	こころの健康	健康づくり推進課職員
10月10日	岐山市民センター	子ども	次世代政策課職員

◆ハートフル人権セミナーの開催状況

指 標	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
参加人数	545 人	287 人	417 人	467 人	402 人
開催回数	18 回	16 回	17 回	16 回	16 回
新規受講者割合	60.6%	56.5%	59.0%	56.0%	50.0%

※令和2(2021)年度以降、感染防止対策の徹底に努め、開催しています。

※上表の参加人数は、学校規模による影響を避けるため児童・生徒は含めていません。

◆「おうちで学ぶ人権講座」一覧

題 名	テーマ(内 容)	再生時間
人権って何だろう	憲法から人権を考える	8:23 秒
誰にでもある思い込み	無意識の偏見を考える	8:28 秒
新型コロナウイルス感染症に関する人権の配慮について	感染症の問題	8:16 秒

事業名 人権教育指導者研修事業 <継続>

当初予算額(前年度):343(150)千円

事業内容 地域社会における人権教育のリーダー的役割を担う方を対象に、さまざまな人権課題への理解や人権意識のさらなる向上を図るため人権ステップアップセミナーを開催します。

【Point】

- ・民生・児童委員、人権擁護委員、地域社会福祉協議会、PTA役員、セミナーを複数回受講された方等を主に対象とします。
- ・コロナ禍により中止していた、ハンセン病療養施設見学バスツアーを再開します。

◆令和5(2023)年度実施予定

開催予定日	テーマ(内容)	講師
6月1日	罪や非行を犯した人の問題(検察庁・裁判所見学)	検察庁・裁判所職員
10月～11月	未定	未定
10月31日	国立療養所長島愛生園見学バスツアー	現地講師

◆人権ステップアップセミナーの開催状況

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	34人	31人	43人	55人	60人
開催回数	3回	2回	3回	3回	4回

事業名 学校人権教育研修事業 <継続>

当初予算額(前年度):497(497)千円

事業内容 小・中学校、幼稚園において、それぞれのニーズに応じた研修会や講演会を支援することで、児童・生徒、保護者、教職員等の人権意識の醸成を図ります。

【Point】

- ・各小・中学校、幼稚園で開催される人権研修会や人権講演会等の取組を支援します。
- ・各小・中学校、幼稚園のニーズに応じて人権出前講座を実施します。
- ・全小・中学校、幼稚園の全教職員等を対象とする学校・園人権教育研修会を開催します。

◆学校・園人権講演会開催状況 ※地域との共同開催を含む 令和5(2023)年2月28日現在

指標	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	10,156人	4,836人	7,130人	8,128人	8,000人

◆人権出前講座(学校・園)の開催状況 令和5(2023)年2月28日現在

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	106人	84人	152人	145人	150人
実施回数	4回	4回	8回	6回	6回

◆学校・園人権教育研修会(全教職員を対象)の開催状況 令和5(2023)年2月28日現在

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	650人	797人	809人	619人	800人
人権課題	人権全般	LGBTQ	インターネット	ハラスメント	未定

※コロナ禍により、令和2(2020)年度は、講師のオリジナルDVDの配付、令和3(2021)年度から、オンラインで実施しています。

事業名 企業職場人権教育推進事業 <<継続>>

当初予算額(前年度):0(0)千円

事業内容 企業・職場における人権教育を推進するため、企業職場人権連絡協議会を中心に、自主的な人権研修会等の取組みを支援します。

【Point】

- ・企業職場人権教育連絡協議会における人権研修会等の取組を支援します。
- ・企業・職場のニーズに応じて人権出前講座を実施します。

◆令和4(2022)年度企業職場人権教育連絡協議会研修会実績

開催日	内 容	講 師
5月24日	個人情報保護と 情報セキュリティ	(株)サンネット 情報セキュリティ研究所 主任研究員 松坂 孝二氏
8月25日	障害者の「働く」と就労支援に ついて	社会就労センター セルブ新南陽 管理者 中村 忠俊氏 就労移行支援事業所 夢ワークあけぼの 所長 道源 博美氏 障害者就業・生活支援センター ワークス周南 所長 久保 敏之氏
2月2日	男性の話し方？女性の話し 方？から考える男女の違い	周南公立大学経済学部 准教授 立部 文崇氏

◆人権研修会等（企業職場人権教育連絡協議会含む）の開催状況

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	435人	200人	165人	182人	190人

※令和元（2019）年度は、男女共同参画セミナーと共同開催した講演会の一般参加者を含みます。

◆人権出前講座（企業・職場）の開催状況 令和5(2023)年2月28日現在

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
参加人数	649人	542人	693人	382人	370人
実施回数	16回	11回	17回	15回	16回

学校教育課

I 基本方針

教育大綱の基本理念である「子どもの夢に寄り添い『生き抜く力』を育む 周南の教育」の実現に向けて、児童生徒一人ひとりの特性や能力を伸ばし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた「生きる力」をより一層育むとともに、これからの変化の激しい社会を未来（あす）に向かって生きるための「生き抜く力」の育成に向けた教育を着実に進めるために、学校への指導及び支援並びに教育環境の整備・充実等に努めます。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

道徳教育や幼児教育の充実を柱とした「豊かな心」の育成

道徳教育の充実

■対象施策

- ・よりよく生きる基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己の生き方を深める道徳の授業づくりを進めます。
- ・豊かな表現力や想像力を育成するため、学校図書館を有効活用し読書活動の充実を図ります。
- ・コミュニティ・スクールの機能を生かしながら、充実感や達成感を得ることができる行事や体験活動の充実を図ります。
- ・文化会館や美術博物館等の積極的な活用により、本物の文化、芸術に触れる機会を拡充します。

「確かな学力」「健やかな体」の育成

確かな学力の育成

■対象施策

- ・義務教育における学びのつながりを明確にし、ICTの活用により、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくりに取り組みます。
- ・国際理解教育の推進やグローバルな視点をもった人材の育成に取り組みます。
- ・特別支援教育の視点に立ち、一人ひとりの特性や教育的ニーズに応じた学びを保障します。
- ・高等教育機関や地元企業等との連携により、専門的な知識や技能を有する地域人材や、地域資源を積極的に活用した学習を進めます。

健やかな体の育成

■対象施策

- ・運動の楽しさを実感できる体育学習、児童生徒の実態や発達段階に即した実践的、科学的な保健学習を充実します。
- ・学校給食や特色のある食育を通して、食の知識の習得や正しい食習慣の定着を図り、心身の健康づくりを進めます。

コミュニティ・スクールの充実

コミュニティ・スクールの充実

■対象施策

- ・全学校に設置している学校運営協議会の運営を支援します。
- ・地域づくりの核の一つとして、地域と連携した学校・園づくりを推進します。
- ・小学校と中学校の連携や同一中学校区内の小中学校間の連携、幼稚園・保育園・認定こども園と小学校の連携をより一層推進します。

信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

児童生徒の『生き抜く力』を育成する生徒指導体制の充実と教職員の人材育成

■対象施策

- ・組織的・開発的な生徒指導体制を構築するとともに、不登校児童生徒等に対する支援体制を強化します。
- ・周南市教育支援センターの利用や専門家の活用を通して、不登校及び不登校傾向にある児童生徒を適切に支援し、不登校状態の改善を図ります。
- ・周南市教育研究センターによるキャリアステージに応じた実践的な研修を充実し、教職員の資質能力のより一層の向上を図ります。
- ・児童生徒 1 人 1 台タブレット端末を有効活用した授業づくりのための教職員研修を充実し、教員の指導力向上を図ります。
- ・教職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図るとともに、教員が本来担うべき業務に集中できる環境づくりに努めることができるよう教員の働き方改革を推進します。

■対象施策

- ・児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支援するため、ICT教育環境の充実を図ります。
- ・児童生徒の安心・安全な通学路を確保するため、通学路における総合的な安全対策を進めます。
- ・小中学校が目指す子ども像を共有する中で、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を行うことによって、さらなる学力や学習意欲の向上、社会性の育成などを目指すため、小中一貫教育の取組を進めます。
- ・家庭の経済的事情にかかわらず、すべての子どもたちが安心して学べるよう、就学等に必要な支援を行います。

事業名 やまぐち部活動改革推進事業 <拡充> 当初予算額(前年度):3,345(1,872)千円

事業内容 国が進める休日の部活動に係る地域での文化・スポーツ活動への移行に向け、関係諸機関・団体とともに円滑な移行に向けたしくみづくり等を検討・推進します。

また、引き続き中学校1校において地域指導者を配置し、実践研究を継続します。

【Point】

- ・平日及び休日の一体的な部活動の移行に向け、19の関係諸機関・団体に構成する「周南市文化・スポーツ活動推進協議会」を設置し、検討します。
- ・令和3(2021)年度に引き続き秋月中学校を実践研究校とし、6部活動にそれぞれ指導者を配置して取り組みます。
- ・教員の部活動指導に係る負担軽減等、持続可能な地域文化・スポーツ活動組織体制の構築及び教員のワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

◆実践研究校における指導者の配置部活動

拠点校名	運動部	文化部
秋月中	<ul style="list-style-type: none"> ・男子ソフトテニス部 ・女子ソフトテニス部 ・軟式野球部 ・卓球部 ・女子バレーボール部 (計5部活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽部 (計1部活動)

事業名 G I G Aスクール構想推進事業 <継続> 当初予算額(前年度):40,202(35,119)千円

事業内容 (1)「G I G Aスクール構想」による1人1台端末、学校通信ネットワーク等のICT機器等を活かしながら、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた研究を継続して進めるとともに、ICT教育アドバイザーを2名配置し、授業支援や校内研修などを通して、教職員の資質向上を図ります。

(2)デジタル教科書や学習総合支援システムを活用し、対面授業、オンライン遠隔授業、家庭学習等、様々な場面で、より質の高い学びを実現することで「確かな学力」の育成を図ります。

(3)教育委員会及び学校との連携を強化し、各校における好事例や課題の共有・発信等を図り、市内全校にわたるデジタル技術の学びへの活用を推進します。

【Point】

・児童生徒1人1台端末など、GIGAスクール構想関連事業により整備したICT機器を学習活動において効果的に活用できるよう、デジタル教科書、学習総合支援システム導入等ソフト面の充実や、ICT教育アドバイザーの配置等による支援体制の充実を図ります。

事業名 教員業務支援員配置事業 <継続> 当初予算額(前年度):34,545(32,008)千円

事業内容 教員が児童生徒と向き合う時間を十分確保し、本来担うべき業務に専念できるよう、コロナ禍における校内の消毒作業や授業準備、学級事務等の補助業務を行う教員業務支援員48名を小中学校に配置します。

【Point】

・学校規模等を勘案し、2名体制の配置等を行いながら、豊かな学びを支える教育環境の一層の充実を図ります。

・持続可能な学校運営体制の構築及び教職員のワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

◆教員業務支援員の配置校 ※令和3(2021)年度までは「学校業務支援員」

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
小学校	21校 29名	21校 30名	21校 30名	21校 30名
中学校	12校 19名	12校 18名	12校 18名	12校 18名
合計	33校 48名	33校 48名	33校 48名	33校 48名

事業名 学校・家庭支援専門家配置事業 <継続> 当初予算額(前年度):2,340(2,340)千円

事業内容 関係機関との連携をより一層強化し、様々な課題を抱える児童生徒に対する心のケアや環境への働きかけにより、諸課題の早期解決を図ります。

【Point】

・児童生徒の心のケアを行うため、本市任用の「スクールカウンセラー」に加え、家庭環境に応じた支援を行う「スクールソーシャルワーカー」を1名配置し、連携して諸課題の早期解決を図ります。

・県の制度を活用して配置している6名のスクールソーシャルワーカーと連携し、学校・家庭への支援の強化を図ります。

事業名 英語教育推進事業 <継続> 当初予算額(前年度):73,999(66,934)千円

事業内容 (1)外国語指導助手(A L T)を15名配置し、英語教育及び外国語活動の充実を図るとともに、国際理解教育の推進やグローバルな視点をもった人材の育成に取り組みます。
(2)夏季休業中に、スピーチコンテスト指導、教職員対象の英会話指導等を行います。

【Point】

- ・15名のALTを各小中学校に派遣し、ネイティブとの会話や英語を使ったコミュニケーション活動に取り組むことを通じて、英語教育の一層の充実を図ります。
- ・授業以外の学校生活においても児童生徒とALTとのふれあいを深め、児童生徒にとって有益な時間を確保できるよう努めます。

◆外国語指導助手配置の実績及び予定

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
外国語指導助手	11名	15名	15名	15名	15名

事業名 コミュニティ・スクール事業 <継続> 当初予算額(前年度):3,522(3,430)千円

事業内容 (1)保護者及び地域住民等の学校運営への参画・支援・協力の促進を図るとともに、地域のニーズを迅速かつ適切に反映させ、地域の特性を活かした特色ある学校づくりを進め、コミュニティ・スクールのしくみを生かして「地域とともにある学校づくり」を一層推進します。
(2)小中学校に設置された学校運営協議会に各50,000円の活動費を交付し、協議会運営の充実を図ります。

【Point】

- ・コミュニティ・スクールのしくみを生かして、地域でめざす子ども像を共有し、中学校区における特色ある教育の推進、学校・家庭・地域の連携と協働による学校や地域の教育課題の解決をめざして、地域とともにある学校づくりをさらに推進します。

事業名 教育支援センター事業 <<継続>> 当初予算額(前年度):13,950(11,249)千円

事業内容 平成 29(2017)年度から新たに開設した「周南市教育支援センター」において、教育指導員を中心に相談業務をはじめ、学習指導やふれあい活動等を行うことで、不登校及び不登校傾向の児童生徒が安心して過ごすことができる場を提供しています。

センターでの諸活動を充実するとともに、学校や関係機関と情報共有を図りながら、児童生徒の社会的自立や学校復帰をめざして取り組みます。

不登校フリーダイヤルをセンター内に設置し、児童生徒や保護者の相談に耳を傾け、不登校解消に向けたアドバイスや支援を行っています。また、週に一度、心理の専門家であるスクールカウンセラーがきめ細かく相談に対応しています。

【Point】

・教育支援センター事業では、教育指導員(4名)、補助員(1名)と本市任用の「スクールカウンセラー」が連携して、児童生徒が安心して過ごすことができるよう学習や活動の支援を行い、学校や関係機関と情報共有を図りながら、児童生徒の社会的自立や学校復帰に向けた教育相談や学習支援を積極的に行っています。また、元養護教諭を教育指導員として1名配置し、児童生徒の「心と体」の両面からの支援と、各小中学校における保健指導への支援を行います。

◆教育支援センターの一日平均利用児童生徒数

R2年度	R3年度	R4年度
4.5人	3.6人	2.9人 (令和5年1月31日現在)

周南市教育支援センター	〒745-0831 周南市楠木2丁目9番1号 TEL:(0834)28-8860 FAX:(0834)28-8860 不登校フリーダイヤル(0120)783090 8:30~17:00
-------------	---

事業名 充実した学校生活サポート事業 <<継続>> 当初予算額(前年度):4,494(5,064)千円

事業内容 (1)国や県の派遣事業を活用し、本物の舞台芸術等に直接ふれる機会を提供するなど、児童生徒一人ひとりの個性を生かし、柔軟で創意ある教育活動を展開する中で、様々な体験を通して豊かな感性や創造力、感動する心を育て、「豊かな心」の育成などの「生き抜く力」を育みます。

【Point】

・情操教育の推進、学校における地域人材や地域素材等、地域の教育力を活かした活動や豊かな自然環境の中での体験活動等を充実するため、各校への交付金により、児童生徒の「生き抜く力」を育み、特色ある学校づくりを進めます。

(単位：千円)

生徒会リーダー研修会活動費交付金	230
充実した学校生活サポート事業費交付金(特色ある学校づくり)	2,102
充実した学校生活サポート事業費交付金(音楽・演劇・美術鑑賞等)	550

(2)本市の地域資源を積極的に活用した学習を通して、地域のよさを知り、郷土に誇りと愛着をもち、周南の未来を担う人材の育成に努めます。

【Point】

・回天記念館での平和学習、美術博物館や文化会館での本物の芸術にふれる学習、地元企業や水素学習室等を活用した地元の産業を知る学習など、本市ならではの特色ある地域資源を積極的に活用した学習の推進を図るため、バス代や船賃など交通費等の補助を行います。

(単位：千円)

充実した学校生活サポート事業費交付金（地域資源を積極活用した学習の推進事業）	1,348
--	--------------

◆充実した学校生活サポート事業費交付金（地域資源を積極活用した学習の推進事業）の実績及び予定

H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
(事業実施校) 小学校 21校 中学校 2校 (計23校)	(事業実施校) 小学校 14校 中学校 3校 (計17校)	(事業実施校) 小学校 10校 中学校 2校 (計12校)	(事業実施校) 小学校 13校 (計13校)	(事業実施校) 小学校 15校 中学校 1校 (計16校)	継続実施
(学習内容) ・回天記念館（平和学習） ・民俗資料館（歴史の学習） ・美術館（芸術鑑賞） ・リサイクルプラザ（環境学習） ・水素ステーション、学習室（水素の利活用の学習） ・ソレーネ周南（流通の学習や体験） ・東ソー、KRY等地元企業（キャリア教育） ・地元農園、下松栽培漁業センター（1次産業の学習） など					

事業名 教職員研修推進事業 <<継続>> 当初予算額(前年度):7,839(6,643)千円

事業内容 (1)小中学校教職員により構成される任意団体等の研修活動や協議活動への補助等を行い、教職員の資質・能力向上に努め、教育の充実を図ります。

◆活動等に対する補助金等の実績及び予定 (単位：千円)

補助金等の名称	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
周南市小学校校長会活動費補助金	266	266	250	250	250
周南市中学校校長会活動費補助金	94	94	94	94	94
周南市公立学校教頭会活動費補助金	408	408	400	200	200
周南市小学校研修会活動費補助金	560	560	550	550	550
周南市中学校研修会活動費補助金	218	218	200	196	196
周南市養護教員研修会活動費補助金	41	41	40	40	40
周南市教育調査研究会活動費交付金	542	542	532	532	532
周南地区小規模校教育振興会負担金	91	91	91	74	70

(2)教育研究センターに上席研究員（2名）を配置し、キャリアステージに応じた教職員の研修を行い、若手教職員に求められる授業力や学級経営力等の資質能力、中堅やベテランの教職員及び管理職の学校管理・運営に係る資質能力の向上と、教育情報化に関する研究に取り組みます。

【Point】

・学校運営等目的別に、小中学校教職員により構成される各種活動組織に対する補助等を通じ、市内小中学校における各種研修・研究活動の円滑かつ持続性のある運営を支援します。
また、周南市教育研究センター内に人材育成、危機管理対応、教育情報化推進等に関する経験や専門的知見を有する上席研究員を配置し、職務やキャリアステージに応じた教職員向け研修等を通じて、教職員の資質能力の向上を図ります。

事業名 学校図書館活用推進事業 <継続> 当初予算額(前年度):33,016(30,360)千円

事業内容 児童生徒の豊かな心の育成を図るため、司書資格を有する経験豊富な学校図書館司書(12名)を小学校7校、中学校5校に配置します。また、学校図書館指導員(14名)を小学校20校、中学校8校にそれぞれ週2日程度配置し、読書活動の推進と学習支援の充実を図ります。

【Point】

・各校に学校図書館司書、学校図書館指導員を配置し、研修の充実を図り、学校図書館活動の促進を図ります。

◆学校図書館司書及び学校図書館指導員配置の実績及び予定

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学校図書館司書	9名	9名	12名	12名	12名
学校図書館指導員	16名	16名	14名	14名	14名

事業名 生活指導推進事業 <継続> 当初予算額(前年度):141,723(99,495)千円

事業内容 特別な支援や介助を必要とする児童生徒一人ひとりの教育ニーズに応じたきめ細かな指導・支援に努めます。

【Point】

・必要に応じて生活指導員や介助員を増員して配置し、特別な配慮を要する児童生徒に対するより一層の支援に努めます。

◆生活指導員及び介助員配置の実績及び予定

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
生活指導員	82名	85名	90名	99名	113名
介助員	8名	7名	10名	9名	8名

事業名	部活動指導員配置事業 <<継続>>	当初予算額(前年度):2,436(2,270)千円
事業内容	1人ひとりの生徒の能力に応じた適切な練習法の導入等、部活動の質的向上を図るため、専門的知識・技能を有する外部人材6名を部活動指導員として中学校に配置します。	

【Point】

- ・主に平日の部活動において、顧問教諭と連携して指導にあたるとともに、必要に応じて、休日の指導や大会等へも引率指導にあたります。
- ・専門的知識・技術を有する指導員の指導により、生徒の技術向上等、部活動指導の充実を図ります。
- ・教員の部活動指導に係る負担軽減等、持続可能な部活動運営体制の構築及び教員のワーク・ライフ・バランスの実現を図ります。

学校給食課

I 基本方針

- 徹底した衛生管理のもと、健康の増進や体位の向上など、児童生徒の心身の健全な発達に資する、安心・安全でおいしい学校給食の提供に努めます。
- 学校給食を生きた教材として活用し、学校における食育の推進を図ります。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

安心・安全な学校給食の提供

事業名 学校給食管理運営事業 <拡充> 当初予算額(前年度):671,759(629,836)千円

事業内容 市内6か所の学校給食センターを円滑に運営し、配送校の児童生徒へ安心安全でおいしい学校給食を安定供給します。

【Point】

・PFI事業者が行う新南陽学校給食センターの運営・維持管理業務について、令和16年度まで包括した契約をしており、効率的な運用を行っています。

◆市内6か所の学校給食センター及び配送校

	小学校	中学校
栗屋(8校)	遠石、久米、櫛浜、鼓南、桜木	鼓南、太華、周陽
住吉(4校)	徳山、今宿	岐陽、住吉
高尾(7校)	岐山、周陽、秋月、沼城、須磨	秋月、須々万
新南陽(13校)	菊川、夜市、戸田、湯野、富田東、富田西、福川、福川南、和田	菊川、桜田、富田、福川
熊毛(6校)	三丘、高水、勝間、大河内、八代	熊毛
鹿野(2校)	鹿野	鹿野

PFIとは…

PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用することにより、同一水準のサービスをより安く又は同一価格でより上質のサービスを提供する手法のこと。

PFI導入のメリットは…

民間のノウハウが活かされた質の高い公共サービスの提供が期待できるとともに、長期間にわたる一括契約により、維持管理に配慮した設計・施工や運營業務の効率化を図ることができ、提供サービスの向上とともに、コスト削減が可能となる。

中央図書館

I 基本方針

- 中央図書館、新南陽図書館、福川図書館、熊毛図書館、鹿野図書館は、それぞれの地域の「知の拠点」として地域の読書活動・生涯学習活動の支援を行うとともに、「知の広場」としての徳山駅前図書館は、新たなスタイルの図書館として、「人が集い楽しむこのまちの賑わいと交流の場」の創出を図ります。
- 6館相互でしっかりと連携を図るとともに、新たに開始した電子図書館など、様々な図書館サービスを組み合わせながら、あらゆる人がより利用しやすく、満足できる図書館を目指すことで、読書環境の整備、市民の文化水準の向上を図ります。

II 教育大綱に基づく対象施策と重点事業

いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

読書が育むひとづくり・まちづくり

事業名 電子図書館運営費 <<継続>> 当初予算額(前年度):4,660(2,860)千円

事業内容 WEB上で電子書籍の閲覧・貸出が可能となる電子図書館サービスを運営します。

【Point】

- ・あらゆる人がより利用しやすい電子図書館となるように、サービス利用の普及啓発や収蔵資料の充実に努めます。

事業名 図書館資料購入費 <<継続>> 当初予算額(前年度):30,300(32,100)千円

事業内容 生涯学習支援の一環として、多様化する利用者ニーズに応えられるよう、新鮮で広範囲にわたる図書館資料の収集、充実に努めます。

【Point】

- ・各館独自の特長を活かしつつ、利用者に満足いただけるように、様々な視点から、総合的な資料の充実に努めます。

◆資料総数（実績及び見込み 令和5(2023)年1月31日現在）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
716,647点	726,657点	734,792点	714,482点	720,000点

事業名 図書館管理運営費 <<継続>>

当初予算額(前年度):202,048(182,308)千円

事業内容 図書館サービスの向上と読書活動の推進を図るために、市内6館の連携を深め、円滑な図書館運営と利用しやすい図書館づくりに努めます。

また、家庭での「うちどく※」の奨励や学校図書館との連携の強化を図るとともに、「第三次周南市子供読書活動推進計画」の推進を図ります。

【Point】

・誰もが利用しやすい読書環境を提供し、すべての人が読書に親しむことのできる幅広いサービスに努めることで、利用者の満足度を向上させます。

◆個人館外貸出延べ利用者数（実績及び見込み 令和5(2023)年1月31日現在）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
293,381人	257,099人	254,380人	229,419人	330,000人

◆うちどくコンテスト参加家族数（実績及び見込み）

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
620組	653組	533組	552組	800組

「うちどく」とは…

「家読（うちどく）」は、「家庭読書（家族読書）」の略語（造語）で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動。

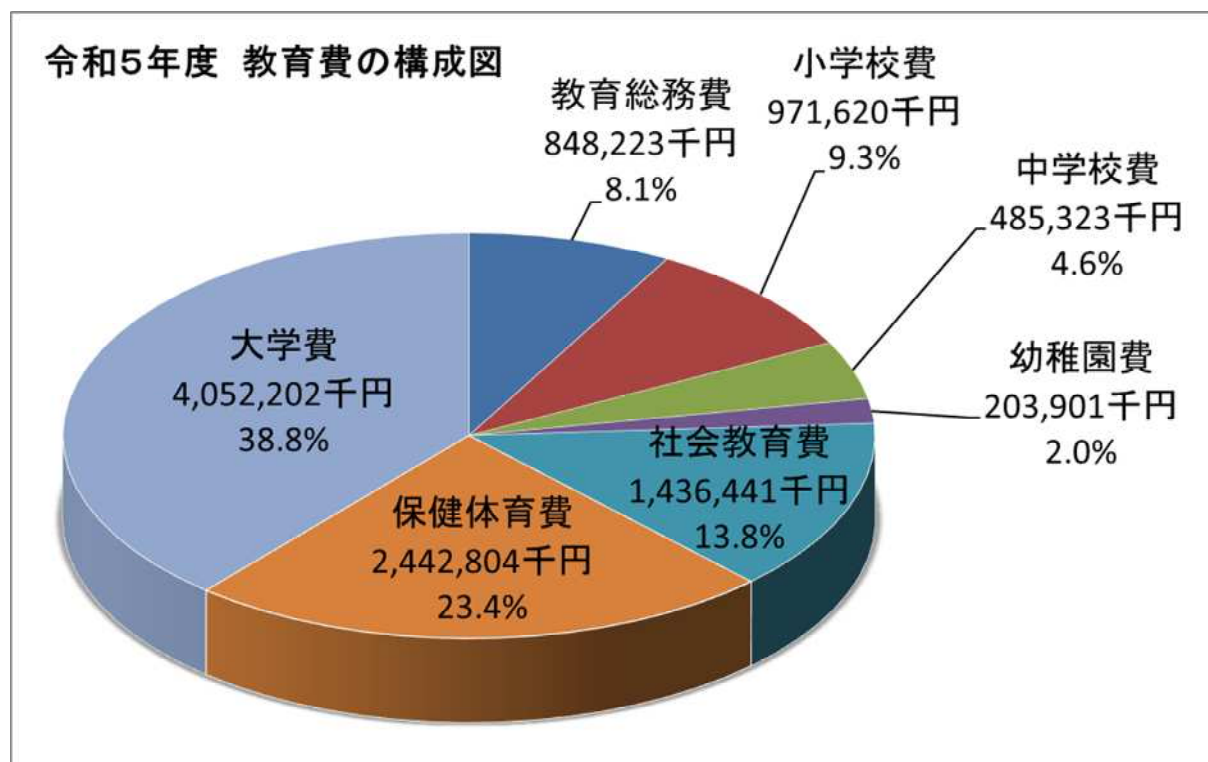
3 教育費予算の状況

(1) 予算規模 (単位: 千円)

区分	令和5年度			令和4年度		増減額 (A-B)
	当初予算額(A)	構成比	対前年度比	当初予算額(B)	構成比	
教育費	10,440,514	14.7%	1.66	6,288,007	9.5%	4,152,507
一般会計	71,081,000	—	1.07	66,197,000	—	4,884,000

(2) 教育費の構成 (単位: 千円、%)

区分	令和5年度		令和4年度	増減額(A-B)
	当初予算額(A)	前年度比	当初予算額(B)	
教育総務費	848,223	108.8	779,622	68,601
小学校費	971,620	105.0	924,943	46,677
中学校費	485,323	83.5	581,244	△ 95,921
幼稚園費	203,901	104.0	195,983	7,918
社会教育費	1,436,441	116.0	1,238,025	198,416
保健体育費	2,442,804	125.3	1,949,918	492,886
大学費	4,052,202	655.4	618,272	3,433,930



(3) 教育費予算の内訳

(単位：千円)

款・項・目	令和5年度 当初予算(a)	令和4年度 当初予算(b)	増減 (a-b)	担当課
教育費	10,440,514	6,288,007	4,152,507	
教育総務費	848,223	779,622	68,601	
教育委員会費	3,717	3,785	△ 68	
教育委員会費	3,717	3,785	△ 68	教育政策課
事務局費	244,490	257,323	△ 12,833	
職員給与費等	174,478	170,728	3,750	
特別職給与費等	13,954	13,878	76	
退職手当	25,625	45,950	△ 20,325	
職員代替経費	3,425	3,367	58	
事務局一般事務費	12,864	12,491	373	
教育施設AED設置事業費	2,948	2,272	676	教育政策課
小中学校再編整備推進事業費	837	825	12	
私学等助成事業費	2,502	2,826	△ 324	
奨学金貸付等基金事業費	2,236	2,419	△ 183	
分庁舎管理事業費	5,621	2,567	3,054	
教育指導費	600,016	518,514	81,502	
教育指導一般事務費	68,475	73,054	△ 4,579	
教育支援センター事業費	13,950	11,249	2,701	
充実した学校生活サポート事業費	4,494	5,064	△ 570	
英語教育推進事業費	73,999	66,934	7,065	
教職員研修推進事業費	7,839	6,643	1,196	
学校文化体育関係経費	12,323	12,353	△ 30	学校教育課
学校図書館活用推進事業費	33,016	30,360	2,656	
生活指導推進事業費	141,723	99,495	42,228	
コミュニティ・スクール事業費	3,522	3,430	92	
スクールソーシャルワーカー配置事業費	2,205	2,205	0	
学校安全体制整備推進事業費	3,523	3,474	49	
こども議会開催事業費	0	133	△ 133	教育政策課
学校ICT環境推進事業費	152,079	130,511	21,568	
部活動指導員配置事業費	2,436	2,270	166	
GIGAスクール構想推進事業費	40,202	35,119	5,083	学校教育課
やまぐち部活動改革推進事業費	3,345	1,872	1,473	
教員業務支援員配置事業費	34,545	32,008	2,537	
学校・家庭支援専門家配置事業費	2,340	2,340	0	
小学校費	971,620	924,943	46,677	
小学校管理費	377,150	302,731	74,419	
小学校運営費	33,287	29,895	3,392	学校教育課
小学校教職員経費	8,555	8,717	△ 162	教育政策課
小学校施設管理費	335,308	264,119	71,189	
小学校教育振興費	157,172	163,055	△ 5,883	
小学校教材教具費等	47,330	49,893	△ 2,563	
小学校就学援助費	85,184	89,893	△ 4,709	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励費	7,272	6,666	606	
小学校通学支援事業費	17,386	16,603	783	
小学校建設費	437,298	459,157	△ 21,859	
小学校改修事業費	437,298	459,157	△ 21,859	教育政策課
中学校費	485,323	581,244	△ 95,921	
中学校管理費	178,981	129,748	49,233	
中学校運営費	21,506	16,853	4,653	学校教育課
中学校施設管理費	157,475	112,895	44,580	教育政策課
中学校教育振興費	167,881	153,832	14,049	
中学校教材教具費等	32,061	32,025	36	
中学校就学援助費	84,678	84,709	△ 31	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励費	5,643	4,543	1,100	
中学校通学支援事業費	45,499	32,555	12,944	
中学校建設費	138,461	297,664	△ 159,203	
中学校改修事業費	138,461	297,664	△ 159,203	教育政策課

(単位：千円)

款・項・目	令和5年度 当初予算(a)	令和4年度 当初予算(b)	増減 (a-b)	担当課
幼稚園費	203,901	195,983	7,918	
幼稚園費	203,901	195,983	7,918	
職員給与費等	150,623	141,169	9,454	こども支援課
幼稚園運営事業費	38,152	39,995	△ 1,843	
私立幼稚園特別支援教育費補助事業費	393	393	0	
幼児ことばの教室運営費	9,302	8,850	452	
幼児教育推進事業費	3,431	3,176	255	
新型コロナウイルス対策費(幼稚園感染予防対策)	2,000	2,400	△ 400	
新型コロナウイルス対策費(幼稚園感染予防対策)	2,000	2,400	△ 400	
社会教育費	1,436,441	1,238,025	198,416	
社会教育総務費	313,357	290,986	22,371	
職員給与費等	313,357	290,986	22,371	生涯学習課
社会教育振興費	6,164	7,628	△ 1,464	
社会教育振興一般事務費	696	377	319	生涯学習課
社会教育団体助成事業費	1,360	1,242	118	
生涯学習推進事業費	2,416	2,326	90	
二十歳の記念式典開催事業費(成人式開催事業費)	1,479	1,423	56	
花いっぱい推進事業費	0	2,260	△ 2,260	
周南市誕生20周年記念事業費(生涯学習課)	213	0	213	
周南市誕生20周年記念事業費(生涯学習課)	213	0	213	
社会教育施設費	113,262	85,211	28,051	
学び・交流プラザ管理運営事業費	87,582	73,292	14,290	生涯学習課
鶴いこいの里管理運営事業費	13,015	11,919	1,096	
学び・交流プラザ改修事業費	12,665	0	12,665	
回天記念館費	19,159	15,285	3,874	
回天記念館管理運営事業費	6,142	15,285	△ 9,143	文化スポーツ課
回天記念館整備事業費	13,017	0	13,017	
文化振興費	61,890	58,824	3,066	
文化振興一般事務費	2,001	248	1,753	文化スポーツ課
文化行事等開催費	200	400	△ 200	
文化振興団体助成事業費	36,046	30,162	5,884	
市美術展開催費	1,596	1,562	34	
美術博物館資料収集事業費	0	2,803	△ 2,803	
美術博物館特別展覧会等開催事業費	11,653	13,255	△ 1,602	
美術博物館企画事業助成事業費	10,394	10,394	0	
文化施設費	483,133	383,312	99,821	
文化会館管理運営事業費	167,238	146,592	20,646	文化スポーツ課
美術博物館管理運営事業費	183,803	157,623	26,180	
郷土美術資料館管理運営事業費	12,981	17,321	△ 4,340	
尾崎記念集会所管理運営事業費	623	641	△ 18	
須金和紙センター管理運営事業費	471	426	45	
文化会館整備事業費	76,978	0	76,978	
美術博物館整備事業費	41,039	53,447	△ 12,408	
郷土美術資料館整備事業費	0	7,262	△ 7,262	
郷土美術資料館整備事業費	0	7,262	△ 7,262	
文化財保護費	93,110	74,023	19,087	
文化財保護一般事務費	2,168	2,105	63	生涯学習課
文化財等管理運営事業費	5,411	4,238	1,173	
埋蔵文化財保護費	4,699	4,718	△ 19	
民俗資料展示室管理運営事業費	63,351	2,355	60,996	
鶴保護対策事業費	17,481	16,955	526	
指定文化財改修事業費	0	35,934	△ 35,934	
民俗資料展示施設改修事業費	0	7,718	△ 7,718	
青少年教育推進費	53,507	51,183	2,324	
学校・家庭・地域の連携協力推進事業費	12,328	12,277	51	生涯学習課
大田原自然の家管理運営事業費	38,945	36,678	2,267	
少年の主張大会事業費	150	144	6	
青少年団体等活動助成事業費	2,084	2,084	0	

(単位：千円)

款・項・目	令和5年度 当初予算(a)	令和4年度 当初予算(b)	増減 (a-b)	担当課
社会教育費				
人権教育推進費	12,264	10,683	1,581	
人権教育推進一般事務費	9,895	8,519	1,376	人権教育課
学校人権教育研修事業費	497	497	0	
人権教育指導者研修事業費	343	150	193	
人権教育講座運営事業費	207	211	△ 4	
地域人権教育推進事業費	736	762	△ 26	
教育集会所管理運営事業費	586	544	42	
図書館費	280,595	260,890	19,705	
図書館管理運営費	202,048	182,308	19,740	
図書館資料購入費	30,300	32,100	△ 1,800	
移動図書館管理運営事業費	4,124	4,163	△ 39	
図書館システム管理運営費	39,283	39,261	22	
新型コロナウイルス対策費(中央図書館)	180	198	△ 18	
電子図書館運営費	4,660	2,860	1,800	
保健体育費	2,442,804	1,949,918	492,886	
保健体育総務費	53,345	52,438	907	文化スポーツ課
職員給与費等	53,345	52,438	907	
学校保健衛生費	138,808	139,979	△ 1,171	学校教育課
児童・生徒・教職員健康管理費	130,436	130,330	106	
医療扶助費	144	144	0	
新型コロナウイルス対策費(衛生環境整備)	8,228	9,505	△ 1,277	
学校給食費	1,352,838	1,378,342	△ 25,504	学校給食課
職員給与費等	93,297	100,071	△ 6,774	
学校給食費一般事業費	20,089	12,794	7,295	
学校給食管理運営事業費(栗屋)	121,110	111,226	9,884	
学校給食材料費(栗屋)	135,130	127,182	7,948	
学校給食管理運営事業費(住吉)	100,639	90,116	10,523	
学校給食材料費(住吉)	107,813	102,562	5,251	
学校給食管理運営事業費(高尾)	91,936	83,869	8,067	
学校給食材料費(高尾)	80,699	78,518	2,181	
学校給食管理運営事業費(熊毛)	84,778	76,934	7,844	
学校給食材料費(熊毛)	58,286	56,600	1,686	
学校給食管理運営事業費(鹿野)	18,354	16,929	1,425	
学校給食材料費(鹿野)	7,958	6,937	1,021	
学校給食管理運営事業費(新南陽)	234,853	237,968	△ 3,115	
学校給食材料費(新南陽)	194,429	184,328	10,101	
防災給食提供事業費	700	700	0	
学校給食センター解体事業費	0	88,770	△ 88,770	
学校給食費徴収事務費	2,767	2,838	△ 71	
体育振興費	75,757	45,087	30,670	文化スポーツ課
スポーツ振興一般事務費	2,156	331	1,825	
体育協会関連事業費	38,271	9,023	29,248	
スポーツ推進委員関係経費	4,964	4,491	473	
地区スポーツ振興事業費	3,344	3,344	0	
トレーニングルーム運営事業費	413	413	0	
スポーツ大会開催事業費	22,104	23,393	△ 1,289	
スポーツ奨励事業費	4,234	4,092	142	
周南市誕生20周年記念事業費(体育振興分)	271	0	271	
体育施設費	822,056	334,072	487,984	文化スポーツ課
体育施設管理費	110,029	279,915	△ 169,886	
体育施設整備事業費	16,053	15,815	238	
周南緑地体育施設等整備推進事業費	695,974	38,342	657,632	
大学費	4,052,202	618,272	3,433,930	
大学費	4,052,202	618,272	3,433,930	企画課
周南公立大学運営事業費	243,937	222,224	21,713	
周南公立大学施設整備事業費	3,733,801	352,294	3,381,507	
基金管理事業費	1,200	1,500	△ 300	
周南公立大学修学支援事業費	73,264	42,254	31,010	

周南市教育委員会事務局機構図(令和5年4月1日)

○教育部

教育政策課

教育政策担当
施設担当

生涯学習課

生涯学習担当
鶴いこいの里、学び・交流プラザ
青少年教育担当
大田原自然の家
児童クラブ担当
24 小学校区 25 クラブ
文化財保護担当
文化財保護関係施設 4施設

人権教育課

人権教育担当
教育集会所 4館

学校教育課

指導担当
教育研究センター
教育支援センター
学務・保健担当
小学校 27 校 休校 7 校
中学校 13 校 休校 3 校
ICT 教育推進室

学校給食課

管理担当
栗屋学校給食センター
住吉学校給食センター
高尾学校給食センター
新南陽学校給食センター
熊毛学校給食センター
鹿野学校給食センター

中央図書館

管理担当
普及担当
新南陽図書館
福川図書館
熊毛図書館
鹿野図書館
徳山駅前図書館

事務局総合出張所

新南陽総合出張所
熊毛総合出張所
鹿野総合出張所

事務局出張所

15 出張所

市長部局

○地域振興部

地域づくり推進課

市民センター担当

文化スポーツ課

文化担当
スポーツ担当

○こども・福祉部

●こども局

こども支援課

保育幼稚園担当
幼稚園 4 園 休園 2 園
認定こども園 1 園
再編整備担当
幼児ことばの教室